

第2回エリア懇談会を開催しました。

第2回エリア懇談会では、第1回エリア懇談会で出された意見を元に、ディスカッションテーマを設定し、それぞれの地域資源や課題、取組などについて、意見交換を行いました。

開催概要

日時：平成26年11月7日（金）10時から11時30分

場所：国際ファッションセンター 112会議室

出席者：NPO 法人隅田川・江戸文化観光振興会、
公益財団法人東京都公園協会東京水辺ライン、
公益財団法人東京都歴史文化財団東京都江戸東京博物館、
公益財団法人日本相撲協会 計5名

事務局：墨田区都市計画課、観光課 計6名

まちの顔をつくる テーマに関する意見

「江戸文化」、「相撲」、「隅田川」のまちの顔づくり

- ・江戸文化、相撲、隅田川が両国の重要な観光資源であり、テーマである。
- ・両国の顔になるのは、駅前や国技館通りではないか。

「江戸文化」の街並みの形成と顔づくり

- ・歴史的な街並みが残っていないので、江戸文化が感じられる建物などを再現してはどうか。
- ・安っぽくない本物を再現したい。今の技術であれば再現は可能だと思う。
- ・工事で陶磁器の破片などが発掘されればそういったものを活用することも考えられる。
- ・水辺は大正モダンにするなど、若い方が来なくなるまちにしていけることも大切だと思う。

「相撲」を発信したい

- ・相撲の朝稽古がもっと見られるようになるとよい。
- ・国技館で夏休みに開催される相撲健康体操は、こどもたちに人気がある。

「隅田川」を活用したい

- ・隅田川沿いにカフェを設けるとよいのではないか。
- ・時間はかかるが、もっと船が自由に往来できるようになるとよい。
- ・船を観光ツアーに加えると外国人に人気がある。

もうひとつの顔、両国のお土産づくり

- ・両国はお土産がないと言われる。顔づくりと合わせてお土産も考えることが必要である。
- ・両国地域の施設や商店の紙袋を持っていると、「両国に行って来たんだな」と思う。
- ・外国人には、相撲の道具柄の手ぬぐい、漢字、錦絵、扇子、はっぴ、大きな浴衣や雪駄が人気がある。
- ・日本人は、ちゃんこ鍋など食べ物を目的に来ている人が多い。

歩きやすい、歩きたくなる、まち歩き環境づくり

- ・まち歩きをする場合の休憩スペースなどが必要である。

文化のネットワークをつくる テーマに関する意見

博物館、美術館や伝統工芸との連携、まちなかをめぐらせたい

- ・博物館・美術館のネットワークをつくり、オリンピック・パラリンピックに向けて、文化ゾーンを形成していきたい。
- ・博物館・美術館のミュージアムショップで伝統工芸などを販売することも考えられる。
- ・江戸東京博物館、すみだ北斎美術館、刀剣美術館などで、小さな博物館や伝統工芸を紹介できるとよい。

来訪者を案内する、回遊のしくみをつくりたい

- ・博物館や美術館へ誘導する案内サインが必要である。
- ・博物館や美術館を巡る循環バスなどがあるとよい。

その他の意見

暮らしと賑わい、地域との共生を考える

- ・住民にとって、観光客が増えると困ることもある。地域との関係を考えていく必要がある。
- ・住民が、観光客など訪れた人に両国の魅力を伝えることができるようになるとうい。